

区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [ ] バグダッド及びモスルは [ ]、ラマディは [ ]
2 特記事項	なし
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 大使館員交代支援
5 その他(備考)	なし

バグダッド 日 誌 (11月12日)
<p>○ 大義名分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バグダッドに来てから一週間が過ぎたルーマニアLO、今朝私が「この生活に慣れた？」と話しかけると、「コーヒー飲む？ 少し話をしよう」と誘ってきた。</li> <li>日本の国内のことサマーワの状況等色々聞いてくるので、当たり障りのないところを答えた。その後、ずっと聞きたかった1989年のルーマニアの革命の事を聞いてみた。前のLO(中佐)はこの話はあまり話しながらなかったので、聞けずにいた。</li> <li>当時彼は中尉で、普通科連隊に所属し小隊長をしていた。彼の小隊は国防省の警備やイリエスク大統領の直接警備も担任したこともあった。</li> <li>革命の翌年の1990年は、国内の対立より「テロリスト」による大統領や国防省要人へのテロの脅威が高く、大統領の送迎の間、何度か車載の機関銃で交戦したことがあった。</li> <li>彼の部隊は、国防省の外縁の警備をし、他の部隊が建物の直接警備をしていた。ある時、混乱した状況が発生し、彼の部下が射殺された。撃ったのは後ろにいる友軍の直接警備の部隊だった。</li> <li>当時は、約40万人いた陸軍も今は、約10万人に削減されNATO加盟国にもなっている。「1990年以降、いい国になった。自分の言いたいことが言え、大統領を自分たちで選ぶことができる。」という。</li> <li>イラクに部隊を派遣している国は、それぞれの国益のための目的がある。自由と民主主義を守ることが大切と一番感じているのは、旧東側の国の兵士達なんだろうなと思った。</li> </ul> <p>○ かつこよく見られたい？</p> <p>夕方久しぶりの駆け足、軽い感じで足を運んでいたら、横道から黒人女性が2人やはり駆け足で私の前に入ってきた。私の方が少しペースが速かったのので、さっと彼女らの横を通り過ぎようとしたところ、一言「Cool」と聞こえた。あれもしかしたら俺って格好いいのかな？これで友達になれたらいいなと思いつつ、格好良さをアピールしようと速度を増してロストレイクの周回に入る。少し走って振り返ると彼女らは遙か後ろをゆっくりと走っている。Coolと言われた瞬間とは、距離も意識も離れてしまったみたいだ。何でこんなことに気付かなかったんだろう。一生懸命やろうとすると距離が生まれると言うことに……。</p>